講義名	連結財務諸表論				授業形態	
担当教員	島田　奈美	開講期・曜日・時限	後期 木曜日 ３時限			
		単位数	2	履修開始年次	３年生	ナンバリング・コード	ACC383

主題と概要

企業は、投資家から出資された資金を元手に企業活動を行いますが、投資家にとって投資先の企業の経営状態は大きな関心事です。そこで企業は一定期間ごとに財務諸表を作成して投資家に情報提供をすることが義務づけられています。
近年まで企業の決算は、個々の独立した単独の企業ごとに行われてきました。しかし、現在では企業経営の拡大発展に伴い、子会社など関係会社を設立して集団的・多角的な経営が行われています。このような状況下で、個々の企業により別々に作られた財務諸表だけでは、企業集団としての経営活動の状況を十分に把握することができません。このため、企業集団の財務状況を示す財務諸表、すなわち連結財務諸表の作成の必要性が生じました。
本講義では、連結財務諸表の必要性やその重要性が高まった背景や基礎概念などを学習した後、連結財務諸表（連結損益及び包括利益計算書、連結貸借対照表など）の作成方法・読み方を学んでいきます。

本講義は経営学科・会計コースにおけるディプロマポリシーの達成に寄与します。詳細は「卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連」欄をご覧ください。

到達目標

1.　連結財務諸表が主要な財務諸表となった背景が理解できる。
2.　連結会計の基礎知識が理解できる。
3.　連結財務諸表の作成できる。

上記の到達目標を達成することにより、経営学科・会計コースにおけるディプロマポリシーの達成に寄与します。

提出課題

毎回理解度を確認するために講義中に課題を課す予定です。

課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバックの方法

課題について、模範解答を配布し解説を行ういます。

評価の基準

・毎回講義の提出状況と内容を確認し、これを平常点とします。（５０%）
・期末テスト（５０%）

履修にあたっての注意・助言他

・連結財務諸表論は個別企業の会計を前提にして組み立てられていますので、個別会計の考え方や会計基準等を理解しておく必要があります。特に、決算振替と純資産に関する内容は重要です。このシラバスを見た時点で「決算振替」や「利益剰余金」などの言葉を全く聞いたことも見たこともない学生には今期の履修をお勧めしません。

・本講義を履修する前に、「基礎簿記」「商業簿記Ⅰ」を履修していることが望ましく、簿記・会計の知識無しに履修した学生の単位修得は難しいでしょう。ちなみに、これまで簿記の初学者で単位を取得できた学生はほぼいません。

教科書

・使用しない.				

参考図書

・なし.				

その他

講義資料を毎回配布します。
練習問題は講義の理解に必要な程度のものを配布しますが、検定受験予定者はご自身に合った教材を各自購入することをお勧めします。

授業計画

1. 連結財務諸表論で学ぶこと
予習内容：シラバスの確認。これまで受講した簿記・会計関連科目に関する資料やノートの整理。（120分）
復習内容：講義資料を復習し、授業内容の理解を深める（120分）

2. 個別企業の会計① 株式会社の設立
予習内容：事前に配布した講義資料に目を通し、キーワードの確認をする。（60分）
復習内容：講義終了後に、講義資料に再度目を通し、問題を解き直す。何も見ないで解けるようになること。（180分）

3. 個別企業の会計② 投資その他の資産
予習内容：事前に配布した講義資料に目を通し、キーワードの確認をする。（60分）
復習内容：講義終了後に、講義資料に再度目を通し、問題を解き直す。何も見ないで解けるようになること。（180分）

4. 個別企業の会計③ 純資産の部
予習内容：事前に配布した講義資料に目を通し、キーワードの確認をする。（60分）
復習内容：講義終了後に、講義資料に再度目を通し、問題を解き直す。何も見ないで解けるようになること。（180分）

5. 個別企業の会計④ 企業結合
予習内容：事前に配布した講義資料に目を通し、キーワードの確認をする。（60分）
復習内容：講義終了後に、講義資料に再度目を通し、問題を解き直す。何も見ないで解けるようになること。（180分）

6. 連結範囲と連結会計の概要
予習内容：事前に配布した講義資料に目を通し、キーワードの確認をする。（60分）
復習内容：講義終了後に、講義資料に再度目を通し、問題を解き直す。何も見ないで解けるようになること。（180分）

7. 資本連結① 100%取得
予習内容：事前に配布した講義資料に目を通し、キーワードの確認をする。（60分）
復習内容：講義終了後に、講義資料に再度目を通し、問題を解き直す。何も見ないで解けるようになること。（180分）

8. 資本連結② 部分取得
予習内容：事前に配布した講義資料に目を通し、キーワードの確認をする。（60分）
復習内容：講義終了後に、講義資料に再度目を通し、問題を解き直す。何も見ないで解けるようになること。（180分）

9. 資本連結③ のれんの処理
予習内容：事前に配布した講義資料に目を通し、キーワードの確認をする。（60分）
復習内容：講義終了後に、講義資料に再度目を通し、問題を解き直す。何も見ないで解けるようになること。（180分）

10.子会社の資産・負債の時価評価
予習内容：事前に配布した講義資料に目を通し、キーワードの確認をする。（60分）
復習内容：講義終了後に、講義資料に再度目を通し、問題を解き直す。何も見ないで解けるようになること。（180分）

11.支配獲得後の連結会計
予習内容：事前に配布した講義資料に目を通し、キーワードの確認をする。（60分）
復習内容：講義終了後に、講義資料に再度目を通し、問題を解き直す。何も見ないで解けるようになること。（180分）

12.段階取得
予習内容：事前に配布した講義資料に目を通し、キーワードの確認をする。（60分）
復習内容：講義終了後に、講義資料に再度目を通し、問題を解き直す。何も見ないで解けるようになること。（180分）

13.未実現損益の消去
予習内容：事前に配布した講義資料に目を通し、キーワードの確認をする。（60分）
復習内容：講義終了後に、講義資料に再度目を通し、問題を解き直す。何も見ないで解けるようになること。（180分）

14.株主資本等変動計算書
予習内容：事前に配布した講義資料に目を通し、キーワードの確認をする。（60分）
復習内容：講義終了後に、講義資料に再度目を通し、問題を解き直す。何も見ないで解けるようになること。（180分）

15.連結財務諸表の作成

授業形態（アクティブ・ラーニング）

○	ア：PBL（課題解決型学習）		イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
	ウ：ディスカッション、ディベート		エ：グループワーク
	オ：プレゼンテーション		カ：実習、フィールドワーク
	キ：その他（ＡＬ型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合）		

卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

本講義は、以下の学科・コースにおけるディプロマポリシーの達成に寄与します。
経営学科
（1）－①　各業界の動向や問題点を理解するための基礎知識を身につけ、これをもとに、企業マネジメントに関する問題探索、課題提案ができる。
会計コース
（5）-①　簿記・会計の学問的知識を身につけ、企業の財政状態、経営成績、キャッシュフロー等に関する情報を作成、分析することができる能力
（5）-②　企業の社会的役割を理解したうえで、修得した専門知識をもとに企業が直面する問題や企業の強みを発見し、経営戦略の構築に貢献することができる能力。

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

キャンパスクロスにて資料・課題の配布・回収をします。

実務経験の有無及び活用

備考